

ショウワノート、たくさん集めたよ

2021キャンペーン、全国1位は久留米市立南小

協賛会社のショウワノート（ベルマーク番号53）による「第48回ベルマークキャンペーン」の表彰校が決まりました。1年間(2021年1月1日～12月31日)で、同社のベルマークをどれだけ集めたかを競うキャンペーンです。

全国1位に輝いたのは、15344点だった福岡県の久留米市立南小学校です。南小は、2020年は4296点を集めて九州・沖縄ブロックで1位になりました。今回はさらに、その3倍以上もの点数を集めたことになります。

小学校以外の部では、千葉県横芝まさご幼稚園が3680点を集め、全国1位でした。全国1位校と、3000点以上を集めて全国8ブロックで3位以内となった小学校には、同社から表彰状と、百科事典や学習帳などの記念品が贈られます。また4位以下でも3000点以上を集めた小学校には、すべて感謝状と学習帳が贈ら

ます。

第49回のキャンペーンは、すでに2022年1月から点数の集計が始まっています。エントリーの必要はなく、ショウワノートのマークをいつも通りベルマーク財団に送ると、自動的に集計されます。対象は1月1日から12月31日までの間に、財団で検収を終えたマークです。ぜひ、ショウワノートのベルマークをたくさん集めて、財団にお送りください。

各ブロック3位以上の表彰校は以下の通りです。

- 【全国】①久留米市立南小(福岡県)15344点
- 【北海道・東北】①宮城教育大学附属小(宮城県)7568点②白老町立白老小(北海道)5344点
- 【関東】①水戸市立千波小(茨城県)7456点②八千代市立大和田南小(千葉県)6232点③習志野市立東習志野小(同)5536点



- 【東京】①小平市立小平第十五小(東京都)8814点②東京学芸大学附属大泉小(同)6375点③練馬区立中村小(同)4569点
- 【北陸・甲信越】①魚津市立清流小(富山県)9838点②高岡市立福岡小(同)5636点③野々市市立富陽小(石川県)3803点
- 【中国・四国】①下関市立勝山小(山口県)3521点
- 【九州・沖縄】①那覇市立小緑小(沖縄県)9701点②飯塚市立庄内小(福岡県)3169点
- 【全国=小学校以外】①横芝まさご幼稚園(千葉県)3680点

イトーヨーカ堂と麒麟ビバレッジが協定

過去10年で1500万点寄贈、次のステップへ

大手総合スーパーのイトーヨーカ堂(本社・東京)と、ベルマーク協賛会社の麒麟ビバレッジ(ベルマーク番号54)は4月2日、「ベルマーク絆プロジェクト」を共同推進する協定書に調印しました。

この協定は、両社が継続的にベルマークの回収と普及の活動に取り組んでいくことを規定しています。イトーヨーカ堂がSDGs(持続可能な開発目標)を意識して今春からスタートさせた社会貢献活動「ミライかけはしプロジェクト」とも連動しています。2日に東京都足立区のアリオ西新井店でプロジェクトのオープニング式典があり、あいさつに立ったイトーヨーカ堂の山本哲也社長はベルマークについて「皆様からお預かりした善意」と表現、さらに「その普及活動を一層高めていきたいと、あらためて協定を締結しました」と話しました。

イトーヨーカ堂は東日本大震災の直後から復興支援の「東北かけはしプロジェクト」を展開。東北名産品の販売などとともにベルマークも集め、麒麟ビバレッジが回収箱の提供などで活動を支えました。財団に寄贈したベルマークは10年間で累計1500万点になります。

式典には麒麟ビバレッジの吉村透留社長、ベルマーク財団の小野高道常務理事も出席しました。吉村社長はこれまでの活動を振り返って「店に足を運びベルマーク商品を買ってくれたお客様に御礼申し上げます」と話し、「今後も子どもたちへの支援を継続していきたい」と結びました。小野常務理事はイトーヨーカ堂の山本社長に10年間の寄贈への感謝状を手渡し、「被災校援助を支え



④4月2日にアリオ西新井店で開かれた式典に出席した関係者たち
⑤店のサービスカウンターに置かれたベルマークくん型の回収箱

てくれた活動のひとつが『東北かけはし』でした。学校で集めたベルマークも、お買いもの額の1割が支援に使われています」とあいさつしました。

店のサービスカウンターには、麒麟ビバレッジがこのプロジェクトのために制作したベルマークくん型の新しい回収箱が早くも設置されていました。

全国プロ会から寄贈

あいおいニッセイ同和の代理店

あいおいニッセイ同和損害保険(ベルマーク番号92)の専業代理店で組成する「あいおいニッセイ同和全国プロ会」は3月29日、1年間集めたベルマークを財団に寄贈しました。

プロ会の細江哲也会長=写真左=と、あいおいニッセイ同和損保専業営業開発室の須藤文野課長補佐が財団を訪れ、収集箱いっぱいベルマークを小野高道常務理事=同右=に手渡しました。プロ会は全国1036の代理店で作る組織で、店頭で収集箱を置いて独自にベルマークを集める活動を展開。5年前から毎年、財団に寄贈してくれています。

以前は東京・恵比寿にあるあいおいニッセイ同和損保のセンチュリーホールでプロ会の代表者会議が開かれ、その壇上で贈呈式がありました。コロナ禍となり、リアルでの会議がなくなった昨年より直接の手渡し方式に。「でも全体の会は、オンライン会議システムを使って開いています。たくさんの顔が画面に並びます」と細江会長。とはいえ、代理店同士の直接のやりとりはさすがに機会が減り、例年よりも点数は少なめだそう。その一方で、細江会長は「各地で、学校に直接寄贈するといった活動は続いています」と話していました。



「運動の持つ意味を知った」

埼玉の親子が“リベンジ”見学

2年前に財団見学を申し込んだらコロナ禍となり、一度は断念した親子がリベンジを果たしました。

3月24日に財団事務所を訪れた埼玉県北本市の野本恵美さん、市立中丸東小学校5年の壮真さん、3年の悠真さんの3人です。学校でベルマークの仕分け・集計を経験した恵美さんが「どのような目的のためにマークを集め、集計するのか」と疑問を抱いたことがきっかけだったそうです。

検収係や倉庫を見学、ベルマークは自校の備品を買えるのに加え、被災校など



への支援に役立っているとの説明を受けました。見学を終えた恵美さんは「運動の持つ意味を知ってから活動すると、楽しくなりそう」と話してくれました。

大台達成校

校名	所在地	点数
大宮別所小	さいたま市北区	6,031,902
北浦和小	さいたま市浦和区	5,072,525
酒井根小	千葉県柏市	5,020,196
指扇北小	さいたま市西区	4,010,252
二俣川小	横浜市旭区	4,050,126
清水小	北九州市小倉北区	4,007,688
長与南小	長崎県長与町	4,000,668
東希望が丘小	横浜市旭区	3,013,076
田丸小	三重県玉城町	3,056,604
森岡小	愛知県東浦町	2,010,650
城東小	群馬県高崎市	1,018,874
安食小	千葉県栄町	1,034,826
山下みどり台小	横浜市緑区	1,003,315
八海中	新潟県南魚沼市	1,012,371
三島保育所	富山県黒部市	1,007,275
若葉幼稚園	富山市	1,002,821
大浦小	金沢市	1,002,200
福井南特別支援学校	福井市	1,001,591
兵庫小	佐賀市	1,007,506
上小	熊本県上天草市	1,005,309

協賛会社2社が脱退 マークは半年間有効

ロッテ(ベルマーク番号57)が2022年3月末日でベルマークの協賛会社から脱退しました。同社のベルマークは9月末日に財団に到着した分まで有効です。

また、東京ワントン本舗(同08)は2022年6月末日で協賛会社を脱退します。同社のベルマークは12月末日に財団に到着した分まで有効です。

いずれも、半年を過ぎるとマークが無効になるのでご注意ください。

また、ベルマーク財団は昨年3月で協賛会社を脱退したファミリーマートと岩塚製菓に、これまでの貢献に対する感謝状を贈りました。